



玉島っ子だより

第16号 令和7年11月6日

文責：校長 森田 祐香

【学校教育目標】 **たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう子どもの育成**

6年生が、修学旅行で多くを学んできました！

10月23日（木）・24日（金）、6年生が長崎へ修学旅行に行きました。スローガンを「みんなの笑顔と自分の笑顔を大事にする修学旅行」と掲げ、平和について学ぶとともに、一人一人の良さを生かせる旅にすることを、みんなで確認して出発しました。

今年も平原小の6年生と一緒にいき、1日目は、平和学習を中心とした見学や集会を行いました。原爆資料館では、1時間では足りないと思えるほど様々な資料をもとに真剣に学ぶ姿が見られました。夜はロープウェイに乗って稲佐山の夜景を観て、平原小の6年生との仲を深めることができました。2日目は、子どもたちが計画したフィールドワーク。5人で協力しながら目的地にたどり着き、旅の終わりのお土産タイムでも、上手に買い物することができていました。

1泊2日の修学旅行中、体調不良者も大きなけがもなく、みんなが笑顔で過ごし、スローガン通りの修学旅行となりました。これまで以上に、仲間の絆が深まったように感じます。5人の笑顔は、最高でした！



大村湾 SA での休憩



爆心地公園での折り鶴捧げ



山里小資料館



長崎歴史文化博物館



新地中華街

ウォークラリー大会への参観ありがとうございました！

11月1日（土）、全校児童で話し合っ作り上げたウォークラリー大会を行いました。お忙しい中、参観に来ていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

みんなの笑顔があふれることをめあてとして、それぞれの学級で創意工夫をしてこの日を迎えました。児童委員さんの堂々とした進行でスタートしたウォークラリー大会。6年生をリーダーとして、子どもたちは、それぞれの遊びを存分に楽しんでいました。

活動後の振り返りでは、“1年生から6年年までみんなが笑顔で過ごせた”“色々な人と協力して楽しむことができた”“仲間との絆が深まった”等、言葉を選びながら、感想を発表していました。今年度は、表現力の向上につながるよう、様々な行事や体験活動後の振り返りの充実を図っています。活動を通

して思ったことや考えたことは、子どもたちにとって表現しやすいものです。それを、どのような言葉を使って表現すれば、より伝わるのかということを学べるように、使える語彙の量を増やし表現の幅を広げる支援や指導をしています。ご家庭でも、かっこいいフレーズやちょっぴり難しい言葉を、あえて、お子様に遣っていただければと思います。学校と家庭とで、表現の幅を広げる環境づくりができれば幸いです。



お笑い芸人を講師とした「話し方教室」を行いました！ ～第2弾～

10月28日(火)、話し方教室の第2弾として、講師のピン芸人かけるさん(お笑い教育家、構成作家として活躍されている方)に、オンライン授業をしていただきました。今回は「日常を面白い視点で育てる」「失敗を笑いに換える」をテーマとして会話力の向上を図りました。そして、「相手の目を見る」や「話を上手に聞く」といったスキルの重要性について、活動を通して再確認できました。授業後のアンケートには、今回の学びで得た知識や経験を他の人にも伝え、新しい視点で人間関係を築きたいという意欲がうかがえる回答もありました。話し方教室の最後の第3弾は、11月19日(水)に、対面式で行います。



3・4年生が、焼き物の絵付け体験をしました！

10月21日(火)、祖父母学級に続き、北波多の岸岳窯三帰庵の富永祐司様を講師として、3・4年生が焼き物の絵付け体験をしました。9月に成形したものが素焼きされ、手元に届きました。子どもたちは嬉しそうに作品を手に取り、模様をつけてオリジナル作品をつくりました。焼き上がりが楽しみです！



原子力避難訓練 ～自他の命を大切にする安全教育～

10月31日(金)、原子力避難訓練及び緊急時引き渡し訓練を行いました。事前に子どもたちには、避難方法や目に見えない放射能から肌を守る方法について学習した上での訓練でした。引き渡し訓練では、保護者の皆様にご協力いただきありがとうございました。訓練に真剣に取り組み“いかなる時にも、自分の命は自分で守る力”を、身に付けることができるように、今後も指導をしていきます。